The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	「出会いのてつがく」'02年度 終了アンケート 集計結果
Author(s)	
Citation	臨床哲学のメチエ. 2003, 11, p. 50-51
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/7821
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

「出会いのてつがく」'02年度　終了アンケート　集計結果

　臨床哲学のメンバーが一年間行ってきたこの授業を反省し、次年度以降の参考にするため、最後の授業で受講生たちにアンケートをお願いした。「批判したら成績に響くのでは？」と言う生徒に、「ノー。次の授業に生かすために批判してほしい。」と返したが、果たして力を込めて批判してくれただろうか。

１．この授業を全体的に評価すると？　５－４－３－２－１
＊グラフ挿入　　（２人－２－５－０－１人）

（＊コメント）全体的評価はまあまあであった。４と評価した生徒は、「けっこう楽しかったし、学校でもやらないこととかあっておもしろかった。」と書き添えてくれた。

２．印象に残った授業を挙げてください。
（複数回答）「雑誌づくり」・「ざっし作り」、「ももさん」、「吉見さんと百々さん」、「ざっし　モモ　車イス　ファッション　れんあいマニアの人　岸田さん」
「良　雑誌くれた時の授業。　悪　介護士の次の人の授業は辛かった。」
「・クローンについて考えたり、話しを聞いたりした時。（もともとこうゆう話好き）
　・車イスに乗って学校の外へ行った時（たった１～２㎝の段差と坂に苦戦…。）
　・６／４の助産婦さんの話（ちょうど私の誕生日でした…。）」
「最初の方の「わしだ」？さんの「あいさつ」の授業」「特になし」

（コ）三学期の雑誌作りや、ファッション美術館の百々さんは特に印象に残ったよう。

３．もっとここをこうしたらいい、こうして欲しいということはありますか？
「ぱっとしなかったので…」
「おもしろく、長い話はおもしろくない」「講師の人のはなしだけのときはつらい」
「一つのテーマをもっと長くしてやったらいい。一週間２時間１テーマではなくて1ヶ月８時間１テーマ。」
「恋愛のことについてもっと時間を取ってほしいかなと。」
「自由度をもっと高くしたらいいと思う。」「自由なであいをしたい」「特になし」

４．もっとこんなことがしたいということはありませんか？
「学校の外に出るようなことを多くしたらいいと思う。」「スポーツ」
「ない」・「特にないです」・「特になし」

（コ）３と４への回答は、授業をする側にとって難しい要望ばかりだが、これらを受け止め、できるだけ応えていきたい。

５．現在選択しているエリアと、進路の予定を教えてください。
現在のエリア名：情報表現６名　うち表現（音楽）１名以上、（美術）２名以上
　　スポーツ健康２名 福祉１名
　　国際コミュニケーション０　　環境自然０　理数０
　　回答なし１名　　＊グラフ化する

進路の予定：進学　大学３名／短大／専門学校３名／　　就職３名　　？１名　　＊グラフ化する

希望の学部や分野、仕事があれば教えてください。
（進路）大学：「分野→美術系、仕事→イラストレーター（動物、まんが系）など」
　　「福祉などに行けたらいいなと。あと農業などもいいと思う。」
　　「日本史の勉強がしたい」
　専門学校：「福祉関係。整備（車）関係」「コンピュータかんけー」
　　就職：「音楽」「げーのー」

（コ）情報表現エリアの選択者が多かった。進路予定は大学も就職もさまざま。

（コ）生徒たちは、この授業は嫌ではなかったが、もっと面白くするよう望んでいる。また、この度も「コンピュータかんけー」とか「げーのー」との表現を見ると、我々ももう少し何とかできることはないかと思わなくはない。ともあれこの授業の受講生たちには一年間の出会いに感謝し、これからも元気で活躍してほしい。そして我々ももう一度、福井高校で「出会いのてつがく」に臨もう。

'02 年度「出会いのてつがく」協力者（肩書きは当時）

鷲田　清一　臨床哲学教授
百々　　徹　神戸ファッション美術館学芸員
本間　直樹　臨床哲学講師
玉地　雅浩　高雄病院理学療法士
伊藤　悠子　芦原病院看護師
霜田　　求　大阪大学大学院医学系研究科医の倫理学助教授
中岡　成文　臨床哲学教授
岸田　　智　臨床哲学博士後期課程
吉見　由香　フリーアナウンサー
重信　嘉彦　介護老人保健施設ニューラーフガラシア介護福祉士
西川　　勝　介護老人保健施設ニューラーフガラシア看護師／臨床哲学博士前期課程
田中　俊英　ドーナツトーク社／淡路プラッツ／臨床哲学博士前期課程
稲葉　一人　京都大学大学院医学系研究科／科学技術文明研究所特別研究員
Lyudmila Slavianska　臨床哲学博士後期課程
高橋　　綾　臨床哲学博士後期課程
三浦　隆宏　臨床哲学博士後期課程
会沢久仁子　臨床哲学博士後期課程